

ベトナム国家大学ハノイ校教育大学（3月2日～3月14日）

受け入れ大学：ベトナム国家大学ハノイ校教育大学（VNU）

参加ユニット：P（4名）、T（4名）

宿舎：Hanoi Holiday Diamond Hotel

住所：5 Nguyen Sieu, Hoan Kiem, Hanoi, Vietnam、電話番号：+ 84-4-3929-0646

担当：辻 耕治

3月2日（月）

10:00 日本（成田空港）発（VN311）

14:25 ベトナム・ハノイ（ノイバイ国際空港）着

VNU スタッフが出迎え。両替、SIM カード購入。

15:30 ノイバイ国際空港発（VNU 公用車）

16:30 ホテル（ホリデーダイヤモンドホテル）着

17:15 ミーティング（スケジュール概要、留意点など）（派遣学生全員と引率教員）

19:00 夕食・買物（ツインクルプログラムで千葉大滞在経験のある VNU 学生ら 5 名が案内）

22:30 ホテル着

コメント：

全員無事にハノイに到着できた。空港には VNU スタッフが出迎えに来てくださり、両替・SIM カード購入もサポートしてくださった。

ホテル到着後のミーティングで、派遣期間中のスケジュール概要・活動の留意点等について引率教員が派遣学生全員に説明し、学生も積極的に質問・確認した。

その後、ツインクルプログラムで千葉大滞在経験のある VNU 学生ら 5 名の案内で、ホテル周辺のフォー専門店での夕食と、スーパーでの食料品等の購入に出かけた。

ホテルは、外観はやや古びているが、設備・サービスは良好である。また、旧市街の一角に位置する立地も、食事・買物に便利である。VNU スタッフから推薦された物件で、安心できる。



ホテルの外観



フォー専門店の料金表（インフレでゼロが多い）

3月3日（火）

- 10:00 ホテル発（VNU 公用車）
 - 10:30 VNU 要職スタッフ等とミーティング（VNU 本部キャンパスにて）
 - 11:30 VNU 教育学部キャンパスに移動・キャンパス内散策
 - 12:30 昼食（キャンパス入口前のブンチャー専門店）
 - 13:30 授業準備（VNU 教育学部ミーティングルーム）
 - 15:00 VNU スタッフ（Cuong 先生）とミーティング
 - 16:30 VNU 教育学部キャンパス発（VNU 公用車）
 - 17:30 ホテル着
- グループごとに行動（夕食、授業準備）

コメント：

10:30 からのミーティングへの VNU からの出席者は、副学長、科学・国際部の部長と副部長、および教育学部長をはじめスタッフ 6 名とツインクルプログラムで千葉大滞在経験のある学生 5 名であった。要職スタッフの出席に、学生は当初は緊張気味であったが、各自の自己紹介を英語にベトナム語を交えてこなせたことは自信になった様子である。ミーティングでは、VNU 副学長から歓迎の言葉をいただいた。VNU スタッフは、ツインクル活動を十分理解しているとのことだった。

15:00 からの Cuong 先生とのミーティングでは、滞在期間中の予定について詳細な説明を受けた。Cuong 先生によるスケジュール調整は、現在進行形の部分も多く、「スケジュールは直前まで確実にならないのがベトナムらしいところ」と、冗談交じりに話された。例えば、日本の高校生相当を想定したレベルの授業を学生は準備してきたが、本日になり、5 日（木）6 日（金）の授業は、一方のユニットは日本の中学 3 年相当の生徒を対象に行ってほしいと要望を受けた。どちらのユニットが引き受けるか学生は若干動揺したが、即座に議論して結論を出した。学生が比較的スムーズに対応できた背景には、事前に引率教員が、ベトナムでは到着後に予定変更が生じる可能性が高いので臨機応変に対応できるよう準備しておいてほしい、と伝えていた効果もあったかもしれない。



VNU 要職スタッフ等とのミーティング



VNU 要職スタッフ等とのミーティング後、緊張から解放された様子の学生たち（背後の青色の建物がミーティング会場）

3月4日(水)

- 08:00 ホテル発(タクシー)
- 09:00 授業準備(VNU 教育学部ミーティングルーム)
- 12:00 昼食
- 13:00 授業準備(VNU 教育学部ミーティングルーム)
- 16:30 Nguyen Tat Thanh (NTT) School に移動(タクシー)
(引率教員、ユニット P2 名、ユニット T1 名、が代表として Cuong 先生とともに。)
(その他の学生 5 名は、タクシーでホテルへ移動。)
- 17:00 NTT School スタッフ(校長他 6 名)とミーティング
- 18:30 NTT School 発(タクシー)
- 19:20 ホテル着
- (23:00 学生 1 名を病院(Hanoi Family Medical Practice)に搬送(タクシー))
- (02:00 検査・治療後、ホテルへ移動(タクシー))

コメント:

ユニット T は、生徒に実験をさせるパートについて、本日午後になって初めてリハーサルを実施し、不足物品・説明の不備・メンバー間での役割分担の不徹底に気づいた。明日の授業に間に合わせるべく、急遽買物に出かけた後、深夜までリハーサルを繰り返した。事態の原因として、ユニット T は、授業の準備を分業制とし、他メンバーの担当部分への関心が稀薄であったこと、実験部分の担当学生がリハーサルの重要性を認識していなかった点が挙げられる。

NTT School(授業受入校)スタッフから、授業目的に対する各生徒の理解度を評価する基準・方法の提示を要求された。両ユニットとも、各生徒の理解度の評価を行うことは想定していなかったため即答できず、数日中に提出する約束にした。今回の授業は、生徒には楽しんでもらえればよいという姿勢で準備してきたが、授業受入校のシビアな姿勢に学生たちは気持ちを引き締めた。

学生 1 名が、食あたりと思われる症状に陥り、病院に搬送した。病院での処置後は、快方に向かいつつある。ハノイは食べものが美味しく、食物に対する警戒心の緩みもあったかもしれない。



授業準備(ユニット P)



授業準備(ユニット T)

3月5日(木)

- 08:00 ホテル発(タクシー)
- 08:40 Olympia School 着
- 09:00 Olympia School 要職スタッフ(校長他5名)とミーティング、校内見学
- 10:10 Olympia School にて授業(ユニットT)(~11:40)
- 12:00 昼食(Olympia School カフェテリア)
- 12:30 本日の授業について Olympia School スタッフと意見交換
- 13:30 Olympia School 発(タクシー)
- 14:20 ホテル着
- 15:00 本日の授業について学生・引率教員間で反省会・次回の授業準備(ユニットT)
明日の授業の準備(ユニットP)

コメント:

ユニットTが1回目の授業を15歳クラス対象に行った。受入校は、インターナショナルスクールで12~18歳が在籍するOlympia Schoolであった。同校スタッフから、昨年度のツインクル学生による模擬授業は大変良かったので、今回の授業にも期待している旨の挨拶をいただいた。授業後の同校スタッフのコメントから、今回も彼らの期待に応えられたと感じる。生徒は、実験に積極的で、90分授業の20~50分頃に実施した実験の時間帯は大いに盛り上がった。しかし実験の時間帯以降、終了までの約40分間は講義形式が続き、退屈そうな様子の生徒も複数見受けられた。同校スタッフからは、この点を改善し、授業後半も生徒参加型になるように工夫することでよりよい授業になるだろうとのコメントがあった。また、学生4名の授業中の役割分担がやや不徹底に見えたとのコメントもあった。この原因は、ユニットTは授業の準備を分業制とし、他メンバーの担当部分への関心が希薄であったためであろう。ユニットTの学生たちは、上記の指摘された要改善点を真摯に受け止め、次回の授業準備に着手しているように見受けられる。

ユニットPは、明日の授業用の資料を夕方頃には仕上げた。昨夜病院に搬送された学生が欠席となった場合に備えたリハーサルも行った。



授業の様子(講義)(ユニットT)



授業の様子(実験指導)(ユニットT)

3月6日（金）

- 08:30 ホテル発（VNU 公用車）
- 09:10 Olympia School 着
- 10:10 Olympia School にて授業（ユニット P）（～11:40）
- 12:00 昼食（Olympia School カフェテリア）
- 13:00 Olympia School 発（VNU 公用車）
- 13:50 Chu Van An School の日本語授業を見学（～14:40）
- 14:50 Chu Van An School 要職スタッフ・日本語教員等（校長他 6 名）とミーティング
- 15:20 Chu Van An School 発（VNU 公用車）
- 15:40 ホテル着
- 16:00 本日の授業について学生・引率教員間で反省会・次回の授業準備（ユニット P）
次回の授業準備（ユニット T）

コメント：

ユニット P が、Olympia School の 16 歳クラス対象に 1 回目の授業を行った。準備万端と思われたユニット P であったが、授業進行が予定よりずれ込み、時間切れ気味に終わる形となってしまった。原因として、授業の導入パートの自己紹介と日本紹介が盛り上がり、それにつられて予定以上の時間を導入パートに費やしてしまったこと、各パート終了時に経過時間をチェックしながら進めるのを授業終盤まで忘れてしまったことが挙げられる。また、未来のハノイ市街の構想図を描かせる作業では、生徒になるべく自主的に思考してほしい意図から指示を少なくしたが、逆に指示が少な過ぎて作業しにくかったことを授業後に生徒から指摘された。ユニット T の学生たちは、これらの要改善点を真摯に受け止め、次回の授業準備に着手しているように見受けられる。

午後は、ハノイ市内の公立 Chu Van An School（創立 1908 年。12～15 歳が在学）の日本語授業（12 歳対象。60 名／クラス）を見学させていただいた。生徒が非常に積極的に取り組んでおり、学生は大変感銘を受けた様子であった。同校教員によると、日本語授業は受講希望生徒が多く、毎回の授業を皆楽しみにしているので自然と積極的に取り組むとのことであった。



授業の様子(講義)(ユニット P)



授業の様子(作業指導)(ユニット P)

3月7日（土）

08:00 ホテル発（観光ツアーのバス）

12:20 ハロン湾着

ハロン湾観光（昼食は船上にて）

16:30 ハロン湾発（観光ツアーのバス）

20:30 ホテル着

（引率教員と学生1名（任意）はホテルに居残り）

コメント：

休日。ハロン湾（ハノイから約100 kmに位置するユネスコの世界自然遺産）をツインクルプログラムで千葉大滞在経験のあるVNU学生2名とともに観光した。移動手段は、当初はVNU学生とともに自分たちでアレンジする予定だったが、Cuong先生の助言に従い、滞在先ホテルで観光ツアー（40 USD／人）に申し込んだ。ハロン湾の景観はもちろん、日本と比較して高速道路における運転の無秩序ぶりも印象的だったようである。



大型の観光船でリラックス



洞窟内観光は小型船に乗り換えて

3月8日(日)

ユニットP

11:30 ホテル発

ハノイ市内観光(ハノイ大教会、タンロン水上人形劇場等)

18:00 ホテル着

ユニットT

09:30 ホテル発

ハノイ市内観光(タンロン遺跡(ユネスコ世界文化遺産)、文廟、ホーチミン廟、西湖等)

16:30 ホテル着

(引率教員と学生1名(任意)はホテルに居残り)

コメント:

休日。ハノイ市内観光をユニットごとに異なるスポットについて行った。ツインクルプログラム等で千葉大滞在経験のあるVNU学生各2名が、両ユニットを案内してくれた。ユニットPは、ハノイを代表するエンターテインメントの水上人形劇をゆったり鑑賞し、ユニットTは、ユネスコの世界文化遺産を含むハノイの主要観光スポットをはしごした感じであった。両ユニットとも楽しい休日となった様子だが、学生1名は午後から次第に体調不良を感じるようになったとのことで、ホテル到着後には寝込んでしまったのが気かりである。



タンロン水上人形劇場ロビーにて



タンロン遺跡にて
(きれいな服を着た女性がなぜか大勢いた)

3月9日(月)

08:30 ホテル発(タクシー)

(09:00 学生1名を病院(Hanoi Family Medical Practice)に搬送(タクシー))

09:20 授業準備(VNU 教育学部ミーティングルーム)

(14:30 検査・治療後、ホテルへ移動(タクシー))

17:30 VNU 教育学部発(タクシー)

18:20 ホテル着

18:30 ミーティング(スケジュール、課題など)(派遣学生全員と引率教員)

19:00 次回の授業準備等

コメント:

両ユニットとも、次回の授業に向けた準備を進めた。1回目の授業の反省点を改善する方法として、リハーサル的重要性を引率教員は指摘した。それをふまえ本日は、セリフを声に出し、スライドを映写して具体的に指し示す等、体を動かして練習した。

明日授業予定のユニットTは、体調不良者が2名出たため、残りの2名での作業となった。実験で使用する道具を組み立てるとともに、授業全体を2名で行うこともシミュレーションした。

昨日から発熱・嘔吐症状の学生1名を病院に搬送した。現在はかなり回復したものの、本日の血液検査で気かりな点があるので2日後に再受診するよう指示を受け、予断を許さない状況である。今回のユニットPとTの合計8名のうち、本日時点で病院搬送が2名、それ以外の体調不良者が3名と、芳しくない状況である。次回以降体調不良学生を出さないためには、ホテルを一人一室で滞在させるのも一策と考える。今回の派遣学生は、相部屋が多い。ただでさえ、2週間は、相部屋で過ごすにはストレスを感じる日数であろうし、相部屋の者が体調不良になると、ストレスは相当大きくなると察する。



授業準備(ユニットP)
(リハーサル形式で行った)



授業準備(ユニットT)
(実験で使用する道具を2名で組み立て)

3月10日(火)

- 07:30 ホテル発 (VNU 公用車)
- 08:10 NTT School 着
- 09:00 NTT School にて授業 (ユニット T) (～10:30)
- 11:00 本日の授業について NTT School スタッフと意見交換
- 12:20 NTT School 発 (VNU 公用車)
- 12:30 昼食 (ブンチャ専門店)
- 13:30 ブンチャ専門店発 (VNU 公用車)
- 14:20 ホテル着
- 14:30 ミーティング (スケジュール、課題など) (派遣学生全員と引率教員)
- 14:50 本日の授業について学生・引率教員間で反省会 (ユニット T)
次回の授業準備 (ユニット P)

コメント：

ユニット T が 2 回目の授業を 17 歳クラス対象に行った。受入校は、公立校で 12～18 歳が在籍する NTT School であった。3 月 4 日 (水) のミーティングで、校長から授業目的に対する各生徒の理解度を評価する基準・方法の提示を要求され、シビアな学校との印象を抱いていたが、それは今回初めてツインクルの授業を受け入れる故の不安と期待によるものだったと、現在では理解している。授業は、校長はじめ教員 8 名が参観してくださり、熱心にノートをとってくださっていた。授業後の同校教員との意見交換および生徒からのアンケート回答では、総じて高評価をいただくことができた。1 回目の反省点をふまえて、学生がしっかり改善を施した成果とを感じる。また、学生は、生徒の反応、教室の大きさ等、1 回目の Olympia School より本日の方がやりやすかったと感じたようで、この点も相乗効果として作用したのかもしれない。昨日体調不良だった学生 2 名も無事教壇に立つことができた点もよかった。

昼食は、出張でご不在の Cuong 先生の代役 Mai 先生に、庶民的な店構えながら美味しいブンチャ専門店にご案内いただいた。



授業の様子(講義)(ユニット T)



授業の様子(実験指導)(ユニット T)

3月11日(水)

- 07:30 ホテル発 (VNU 公用車)
- 08:10 NTT School 着
- 09:00 NTT School にて授業 (ユニット P) (～10:30)
- 11:00 本日の授業について NTT School スタッフと意見交換
- 12:20 NTT School 発 (VNU 公用車)
- 12:30 昼食 (ショッピングモール内のベトナム料理店)
- 13:30 ベトナム料理店発 (タクシー)
- 14:10 ホテル着
- 14:15 本日の授業について学生・引率教員間で反省会 (ユニット P)
- ミーティング (VNU での活動報告会について) (派遣学生全員と引率教員)
- (14:30 3月9日病院搬送学生1名が経過検査のため病院再訪 (タクシー))
- (16:00 検査後、ホテルへ移動 (タクシー))

コメント:

ユニット P が 2 回目の授業を NTT School の 17 歳クラスを対象に行った。授業は、昨日同様、校長はじめ教員 8 名が参観してくださった。授業後の同校教員との意見交換では、総じて高評価をいただいたものの、昨日のユニット T への評価が絶賛に近かったのと比較すると、厳しい意見も述べられた。例えば、この授業内容は 17 歳クラスには易し過ぎると感じたとの意見が複数の教員から出た。引率教員の私見では、高度な内容 (大学レベル) を 17 歳クラスでも容易に理解できるよう説明・指示を工夫した結果と、むしろ学生をポジティブに評価したい。1 回目の授業での反省点をふまえ、説明の方法や生徒の作業に関する指示が格段に改善されていた。

昼食は、昨日同様 Mai 先生にご馳走いただいた。本日は、ショッピングモール内的高级感漂うベトナム料理店であった。

夜には、本日が誕生日の学生 2 名のお祝会を開催した。ツインクルプログラムで千葉大滞在経験のある学生 3 名が手作りケーキ持参で駆け付けてくれたのは、大変心温まる出来事であった。



授業の様子(講義)(ユニット P)



授業の様子(作業指導)(ユニット P)

3月12日(木)

08:30 ホテル発 (VNU 公用車)

09:10 VNU 教育学部キャンパス着

活動報告プレゼンテーションの準備・予行

13:30 VNU 教育学部キャンパス発 (VNU 公用車)

14:00 VNU 本部キャンパス着

活動報告プレゼンテーション・今後の TWINCLE 活動発展に向けた意見交換

15:30 VNU 本部キャンパス発 (VNU 公用車)

(15:30 学生1名を病院 (Hanoi Family Medical Practice) に搬送 (タクシー))

16:10 ホテル着

(17:30 病院での検査・治療後、ホテルへ移動 (タクシー))

18:20 ミーティング (病院搬送学生への本日・明日の対処方法等) (派遣学生全員と引率教員)

コメント:

滞在期間中の活動報告プレゼンテーションおよび今後の TWINCLE 活動発展に向けた意見交換を VNU で行った。出席者は、副学長はじめ VNU の要職スタッフ 5 名とツインクルプログラムで千葉大滞在経験のある学生 5 名であった。VNU の要職スタッフは、活動報告プレゼンテーションを聴き、本滞在期間中の活動が双方にとって有意義なものになったと認識した様子で、今後 TWINCLE 活動をより発展させていきたいという意志を一層強くされたように見受けられた。そして、今後の TWINCLE 活動について、以下の提案・説明を受けた。(1) 学際分野に加えて伝統文化に関する活動にも力点を置いてはどうか(2) 派遣学生に日本語クラスでの授業も実施させる機会を設けてはどうか(3) ベトナムではスケジュールが確定するのは直前になってしまう(派遣学生から、授業を実施するクラスの学年・専攻・人数等をなるべく早期に確定していただけるとありがたいとの要望に対する回答)。

体調不良を訴えた学生1名を病院に搬送した。連日深夜まで授業・活動報告プレゼンテーションの準備を行っていたようなので、疲労で免疫力が低下していたものと察する。



活動報告プレゼンテーションの様子



VNU から記念品贈呈(副学長(中央)より)

3月13日（金）

～20:30 自由行動（活動報告ポスター作成、VNU 学生に招待された食事会、買物等）

（昨日病院搬送の学生は、ホテルで静養）

ホテル発（VNU 公用車）

21:30 ノイバイ国際空港着

00:20 ベトナム・ハノイ（ノイバイ国際空港）発（VN310）

コメント：

日中は自由行動とした。昨夜病院搬送した学生はホテルで静養させた。その看病を学生たちが自主的に、担当の時間帯を決めて行ってくれた。滞在期間中、病院搬送したその他2名の学生についても、自主的に看病・気配りをしてくれた学生たちの態度を誇らしく思う。学生たちは、病院搬送・看病に係る引率教員の指示を遵守してくれ、大変助かった。

引率教員としては、派遣期間中に学生が体調不良に陥らないための対策として、（1）滞在期間中深夜まで作業しないで済むように、出発前に授業を完成させておくこと（2）体調不良を感じたら無理せず静養すること（3）体調不良を感じたら早目に引率教員に報告すること、を繰り返しアナウンスしてきたが、遵守されなかった結果、学生3名の病院搬送となった。この点については、引率教員の責任とともに、各学生の自身の健康管理についての認識の甘さもあったように感じる。

VNU スタッフとツインクルプログラムで千葉大滞任経験のある VNU 学生による、我々に対するホスピタリティーに大変感謝している。ベトナムでは、客を手厚くもてなすのが習わしだから、とのことである。今後彼らが日本訪問の際には「おもてなし」の気持ちで応えたい、との思いを我々全員が抱いている。



学生3名がお世話になった病院
（日本人スタッフも勤務。日本大使館付近に立地）



滞在先のホテルスタッフ
（親切・親身に対応いただき、感謝）

3月14日（土）

07:00 日本（成田空港）着

07:40 総括

解散

コメント：

全員そろって予定どおりのフライトで帰国でき、引率教員としてはひと安心した。（昨日朝の時点で体温が 38℃台の学生がいて、その学生のフライト延期を考慮せざるを得ない状況だったため）。授業準備開始から本日までの、本プログラムでの経験が学生たちの糧のなると信じる。



学生全員予定どおり帰国
（成田空港到着ロビーにて）